

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

キーワード

1. ESD・SDGsの視点にたった新しい減災教育
2. 多様な組織やキーパーソンとの協働により実施するネットワーク型研修プログラム
3. 新しい理論および実践、対話や学び合いを通して学ぶ包括型研修プログラム
4. 教育現場のニーズに応じた児童・生徒の自主性を重視した実践的な研修
5. 学校・地域で減災教育を実践する教員の育成

活動の目的・目標

1. 減災教育を通して持続可能な社会および未来を創る。
2. 災害時に地域の拠点となる学校の防災・減災力の向上と、地域のリーダーとなり得る児童・生徒の育成を支援する。
3. 学校と地域・外部機関が協働した減災教育の推進を支援する。

活動の対象者

全国の小学校、中学校、高等学校（義務教育学校、特別支援学校等を含む）
※減災教育フォーラムはNGO/NPOや企業、団体、市民など一般にも公開

活動内容

アクサ生命保険株式会社の支援および及川幸彦准教授（奈良教育大学）のプログラムコーディネートのもと、気仙沼市教育委員会など多様な教育機関や施設、有識者、NGO/NPO等との協働により、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会の後援事業として、年間を通して以下の活動を行っている。

1. 助成校の募集

4月から5月にかけて全国より助成校を公募。審査会を経て助成校（毎年30校程度）を決定する。

2. 助成金の支給

助成校には助成金（10万円）を支給する。助成校は助成金を活用し、年間を通して減災教育に取り組む。

3. 教員研修会の実施（9月・3日間）（宮城県気仙沼市・仙台市）

気仙沼市教育委員会と共催。助成校教員を対象に東日本大震災の被災地を訪問して実施。減災教育理論の講義の他、震災遺構や被災地の小中学校を視察する。現地の教員や児童・生徒との対話、被災地の経験・教訓から実践的な減災教育の進め方を学ぶ。

活動内容



(教員研修会：減災教育理論講義の様子)



(教員研修会：中学生語り部ガイドの案内による震災遺構（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館）視察）



(教員研修会：中学生講師による小学校での防災教室（授業）の様子)



(教員研修会：3日間の研修総括としてグループワークを行い全体で学びを共有)

4. 活動報告会（1～2月）（東京都）

助成校の教員が実践発表やグループワークを通して、1年間の減災教育活動の成果と課題を共有し、次年度以降の改善を図る。



(活動報告会：実践発表後、各校の取り組みの成果と課題を共有)

活動内容

5. 減災教育フォーラム（1～2月）（東京都・オンライン）

一般にも公開。気候変動や防災・減災教育に関する講義の他、学生や教員、NGO/NPO関係者、有識者によるパネルディスカッションや、全国で減災教育に取り組む学校（過去の本プログラム助成校）の事例発表を通して、減災教育の知見を深める。



（減災教育フォーラム：本プログラム過去助成校による事例発表）

活動の特徴

1. 多様な組織とキーパーソンの参画と協働によるネットワーク型プログラム

支援企業やプログラムコーディネーター、大学・専門機関、NPO/NGO、教育委員会や学校と当協会連盟がそれぞれの役割の中で協働し学びを創造する。

2. ESD・SDGsの視点に立つ持続可能な減災教育教員研修プログラム

従来の防災・避難訓練活動にとどまらず、ESD・SDGsの視点にたち、持続可能な社会を創り、子どもたちの主体性を育てる減災教育の実践を図る。

3. 多彩なプログラム・研修内容

①ESD・SDGsを理念とした減災教育理論②減災教育のカリキュラムマネジメントや校内体制等の実践手法③東日本大震災被災地の視察による実感的な学び④発達段階に応じた授業づくり⑤減災教育で育った児童・生徒や教員たちとの対話と学び⑥地域や関係機関との連携構築の手法⑦全国の教員との地域、校種をこえた交流と発信。

参加者の声・感想

○被災地の人たちとの対話などにより減災を自分事として捉えられた。多くの学校とのつながりもでき、自校の取り組み改善の手掛かりが見つかった。（大阪府 小学校）

○本校は山間部の小さい学校。プログラムに参加し気仙沼市や全国の学校との出会いをきっかけに、児童同士がオンラインで交流できた。小さな学校から全国へと減災の輪が広がった。（和歌山県 小学校）

○綿密なプログラム構成ですべてが学びにつながる。学びをカリキュラム改善につなげた。（宮崎県 中学校）

○本校での減災教育に対する意識が高まった。県内に発信していくため、ユネスコクラブの学生や地域のユネスコ協会と協働していきたい。（奈良県 高等学校）

○助成金により活動に幅ができた。これまでできなかったことに積極的にチャレンジできた。（埼玉県 特別支援学校）

参考情報

活動実績（2014年度から2023年度）

参加した助成校数は246校。助成校の減災教育活動に参加した教員、児童・生徒や地域住民等の数は約9万3千人。11年目を迎えた2024年度は30校を助成し、助成校の減災教育活動に参加した人数は10万人をこえる見込みである。

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

<https://unesco.or.jp/gensai/>

団体・組織情報

【団体・組織名】公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

【設立年】1948年

【所在地】東京都渋谷区恵比寿1-3-1 12F

【団体概要】

仙台ではじまった民間ユネスコ活動を続ける約270のユネスコ協会等の連合体的組織。

UNESCO憲章の理念に基づき、平和な世界の構築や持続可能な社会の推進を目指す。

UNESCOや日本ユネスコ国内委員会と連携・協力し、国内外で草の根活動を行っている
NGO

【URL】 <https://www.unesco.or.jp>

担当者情報

【担当者名】減災教育担当

【所属】学校支援部

【Eメール】 gensai@unesco.or.jp

【電話番号】03-5424-1121